

令和3年2月26日

学校法人秋葉学園 千葉情報経理専門学校 学校関係者評価報告書

評価者：学校関係者評価委員会

<2019年度の学校関係者評価>

1. 学校関係者評価委員名簿

NO	氏名	所属	任期
1	西村 豊	ウエルネスマーケティング研究所代表	2年
2	田原 義一	有限会社トータルマネジメント代表取締役	2年
3	宮本 はる美	企業社員・主婦・卒業生	2年

2. 学校関係者評価委員会開催日時

2021年2月26日（金）13時30分から15時30分

会場 別館 52教室

3. 学校関係者評価委員会出席者（合計5名）

学校関係者評価委員（欠席 西村 豊）2名

学校教職員

副校長 久富・事務局長 高山・学科教務主任 半田・計3名

4. 経過・議事について

事務局より委員（全員）出席確認後本委員会が成立する旨を述べ、事務局長より学校関係者評価委員会開催にあたり挨拶があった。事務局長より学校の現在の状況や募集状況の説明があり、学校内自己点検・自己評価委員会の2019年度評価をもとに、学校関係者評価委員による評価を行った。

1. 学校の教育目標

人間教育を基本とし、国際化社会における知識と知恵と技能を授け、国際経済ならびにビジネス・医療秘書に貢献する人材の育成を目的としており、積極・誠実・創造を教育理念としている。具体的には、積極では、経営に関する専門的知識・技能を身につけた行動力のある積極的な社会人の育成。誠実では、人間性豊かな情操と心身共に明るく健全な、誠実性のある調和のとれた社会人の育成。創造では、高度な国際情報化社会の中で、創造性に富み自主的で責任感の強い社会人の育成を教育の目標としている。

2. 本年度の定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

「専門的知識・技能・技術を教育し社会に貢献する人材」を人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するに留まらず人間性を高める教育を併せて展開する事により、真に社会に役立つ人材を輩出する事を目標としている。

3. 評価項目の達成及び取得状況

大項目	中項目		自己点検評価					
			5	4	3	2	1	NA
基準1 教育理念・目的・育成人材像	1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか		○				
	1-2	学校の特色はなにか			○			
	1-3	学校の将来構想を抱いているか			○			
	全体				○			

- ① 論評 教育理念・目的・育成人材像については、下記エビデンスにあるように入学前・入学後に様々な機会を通して実施されている所であるが、この項目の全体を通じてより浸透させていくための工夫が必要であるとの指摘もあり、この項目の全体自己点検評価を「3」とした。
- ② 今後の改善方策 この項目全体をより浸透させていくため、下記エビデンスの内容を今一度再点検し、浸透のための工夫を考える事を今後の方策とする。
- ③ エビデンス
 - 1-1 入学案内書・学則・学生便覧
 - 1-2 入学案内書・学生便覧・その他の媒体
 - 1-3 入学案内書・学生便覧・入学前ガイダンス・学校説明会（学科別）
入学後のオリエンテーション

基準2 学校運営	2-1	運営方針は定められているか			○			
	2-2	事業計画は定められているか			○			
	2-3	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか			○			
	2-4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	○					
	2-5	意思決定システムは確立されているか			○			
	2-6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか			○			
全体					○			

① 論評 運営については、理事会・評議会等適切な運営がされていること、またこれに係わる各種書類も整備されている。意思決定システムや業務の効率化については、尚研究する余地があることから、この項目の全体自己点検評価を「3」とした。

② 今後の改善方策 意思決定に係わるまでの稟議や連絡・相談・報告等をより以上綿密にすることにより、連絡ミスや事故のないように務める。

- ③ エビデンス
- 2-1 寄付行為・資金収支計算書・消費収支計算書等の財務書類
 - 2-2 事業計画書・理事会・評議会議事録
 - 2-3 人事考課・就業規則・校務分掌
 - 2-4 就業規則・賃金台帳等の財務書類
 - 2-5 校務分掌・稟議書
 - 2-6 職員室内のCP・OA機器の設置

基準3 教育活動	3-1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか			○			
	3-2	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか			○			
	3-3	カリキュラムは体系的に編成されているか			○			
	3-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか			○			
	3-5	授業評価の実施・評価体制はあるか			○			

	3-6	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか			○			
	3-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか			○			
	3-8	資格取得の指導体制はあるか			○			
	全体				○			

① 論評 本校の設置学科である2つの学科、情報処理科、情報ビジネス学科は、カリキュラム等に工夫して、各種検定試験で合格できるよう教員全員で指導にあっている。また、医療秘書学科においては、長期に渡る病院での実習をより効果的なものとするため、病院実習前の事前指導を実習指導者との連携により充実させていきたい。委員からは、全体評価は「4」でよいのではとの意見もあったが、学内教育に加え校外実習連携の強化と言う観点から、この項目の全体自己点検評価を「3」とした。

② 今後の改善方策 校外実習連携の強化を目標に、校外実習指導者連絡会議等の開催を検討する。

④ エビデンス 3-1 学校説明会・入学案内書・学生便覧・オリエンテーション・就職説明会
校長・教務主任会議（随時）・シラバス・授業計画書・授業報告書
社会福祉士及び介護福祉士施行令第5条に基づく報告（介護福祉士学科）
児童福祉法施行令第5条5項に基づく報告（保育士学科）
3-2 学校説明会・入学案内書・学生便覧・オリエンテーション・就職説明会
校長・教務主任会議（随時）・シラバス・授業計画書・授業報告書
3-3 校長・教務主任会議（カリキュラム編成会議）
3-4 校長・教務主任会議（カリキュラム編成会議）
3-5 校長・教務主任会議（随時）・授業計画書・授業報告書、クラス担任制、授業内容日誌

基準4 教育成果	4-1	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか			○			
	4-2	資格取得率の向上が図られているか			○			
	4-3	退学率の低減が図られているか			○			
	4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか			○			
	全体				○			

- ① 論評 就職については、情報処理関連の企業からの求人票も多く就職活動については、概ね順調である。卒業生の社会的な活躍及び評価については、実情が把握しきれていない。
- 学校関係者評価委員から「社会で活躍している卒業生をもっと活用したら」という意見や「学校で卒業生の活躍や評価を把握する機会を創った方がよい」との意見も出た。これらの事を勘案して、この項目の全体自己点検評価を「3」とした。
- ② 今後の改善方策 校友会とも連携して、卒業生の社会的な活躍及び評価について把握する企画を検討する。
- ③ エビデンス 4-1 学校基本調査・私立学校実態調査・就職説明会・卒業年次学科クラス担任と就職部連携会議
4-2 校長・教務主任会議（随時）・資格試験対策補修授業
4-3 担任制・担任及び学科主任指導・三者面談指導

基準 5 学生支援	5-1	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか			○			
	5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか			○			
	5-3	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか			○			
	5-4	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか			○			
	5-5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか				○		
	5-6	学生の生活環境への支援は行われているか		○				
	5-7	保護者と適切に連携しているか		○				
	5-8	卒業生への支援体制はあるか				○		
全体						○		

- ① 論評 担任制を引いているので、学生は常に担任との相談ができる体制にある。また、就職部や奨学金の担当も別にあるので、目的に合った詳しい相談ができる体制にある。学生の経済面での支援については、学園の奨学金がある。その他国や下記エビデンスにあるような各種の奨学金があるので、希望者に円滑に案内・活用できるよう進められている。学生の健康管理については、毎年5月に検診車による健康診断を学生全員が受診し、その他日常の学校生活では、校医がおり受診することとなっている。また、課外活動に関する支援体制については、教員と学生委員による綿密な計画相談を行い実施している。また学生の生活環境支援としては、遠方からの入学者用として適切な業者、物件を希望者に案内している。保護者との連携について

は、欠席・遅刻が多い場合には担任より保護者に連絡、また成績やその他の学生に関する相談も担任と保護者の連携で行っている。卒業生の支援については、委員からも、リカレント教育等の卒業者支援が必要ではないかとの意見もあった。この項目の全体自己点検評価を「3」とした。

② 今後の改善方策

卒業生支援についてリカレント教育（卒後教育）の企画検討をする。

④ エビデンス

- 5-1 学校基本調査・就職説明会・卒業年次学科クラス担任と就職部連携会議
- 5-2 クラス担任制・校務分掌
- 5-3 秋葉学園奨学金・生命保険協会奨学金・日本学生支援機構奨学金・校務分掌
- 5-4 学校健康診断の実施・校務分掌（担任・主任・校長体制）
貯水槽清掃報告書（水質検査）
- 5-5 校務分掌（担任・主任・校長体制）
- 5-6 担任制・三者面談の実施
- 5-7 就職部・各学科（卒業後の相談窓口）・校務分掌

基準6 教育環境	6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されているか				○		
	6-2	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか				○		
	6-3	防災に対する体制は整備されているか			○			
	全体					○		

① 論評

施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されている。また学外実習についても同様である。また防災についても年に1回防災訓練を行って消防署に報告している。ただし、施設・設備に老朽化が出てきたので、この課題を検討する必要があることから、この項目の全体自己点検評価を「3」とした。

② 今後の改善方策

老朽化した施設・設備を把握し、リストを作り優先順位を決め、順次整備。

③ エビデンス

- 6-1 設置認可書・校舎増減届・
- 6-2 防火管理体制・消防用設備等点検結果報告書（消防）・防火管理者

基準7 学生の募集と受け入れ	7-1	学生募集活動は適正に行われているか			○			
	7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか				○		
	7-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか			○			
	7-4	学納金は妥当なものとなっているか				○		

全体			○			
----	--	--	---	--	--	--

- ① 論評 各学科ともに、より多くの応募者が出るようより一層の工夫努力が必要であることから、この項目の全体自己点検評価を「3」とした。h
- ② 今後の改善方策 教育成果等の実績をより多くの高校進路指導部の先生に知ってもらおう努力とともに、学校説明会、体験入学、高等学校ガイダンス、奨学金説明会等を通じて高校生やその保護者によく理解してもらおう内容の新企画を考案する。
- ④ エビデンス 7-1 学校説明会・体験入学・A0 入学制度・高等学校ガイダンス・学生募集要項
千葉県専門学校公式ガイドブック
7-2 学校説明会・体験入学・A0 入学制度・高等学校ガイダンス・学生募集要項
千葉県専門学校公式ガイドブック
7-3 入学書類選考会議・入学試験（適正試験、面接）記録・学生募集要項
7-4 財務諸表書類

基準 8 財務	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか			○		
	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか			○		
	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか			○		
	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか			○		
	全体				○		

- ① 論評 財務については、各項目書類や会計監査等適正に行われておこなわれており、ホームページによる財務情報の公開も行われていることから、全体自己点検評価を「3」とした。
- ② 今後の改善方策 適正に行われている。
- ③ エビデンス 8-1 財務関係書類
8-2 予算関係書類
8-3 会計監査書類
8-4 ホームページによる情報公開

基準 9 法令等の遵守	9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか			○		
	9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか			○		
	9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか			○		

	9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか				○		
	全体					○		

- ① 論評 情報処理科・情報ビジネス学科・医療秘書学科では、校長主任会議を適時開催し適正な運営がなされている。
昨年度情報公開されていないので、全体自己点検評価を「3」とした。

- ② 今後の改善方策 ホームページにて公表（随時更新）

- ③ エビデンス 9-1 学生募集要項・秋葉学園個人情報保護規定
9-2 教務主任会議・自己点検・自己評価委員会
9-3 教務主任会議（随時）・自己点検・自己評価委員会
9-4 ホームページで公開

基準 10 社会貢献	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか				○		
	10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか				○		
	全体					○		

- ① 論評 下記エビデンスにあるように、学校の教育資源を利用した各種の委託事業や、千葉東法人会、千葉南法人会の講座を通して社会貢をしている。

- ② 今後の改善方策 今以上に奨励推進していく。

- ③ エビデンス 10-1 市原高等技術専門学校を通して離職者等再就職訓練、千葉東法人会、千葉南法人会の講座を通して社会貢をしている。

基準 11 国際交流	11-1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか				○		
	11-2	受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか				○		
	11-3	学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか				○		
	11-4	学内で適切な体制が整備されているか				○		
	全体					○		

- | | |
|-----------|--|
| ① 論評 | 留学生の受け入れについては、入学試験（筆記試験、面接）を適正に実施しており、留学生部の設置により、受け入れから在留ビザ更新等の手続きなどの手助けを行っている。また日本人学生との交流を促進するため、スポーツ大会、サマーキャンプ等では、各学科を超え日本人学生と混合して実施している。また在籍管理や授業態度等に関しては、留学生部の合同会議により、出席状況や授業態度や学習面等の報告があり、指導が必要な留学生には適時担任及び教務主任が指導にあっている。学修成果及び日本での就職状況については、主に日本語学校訪問時に報告。委員からも留学生の生活指導面や学習面での指導等の指摘もあり、課題となっている。この項目の全体自己点検評価を「3」とした。 |
| ② 今後の改善方策 | 留学生個々の生活指導及び学習面での面談指導 |
| ③ エビデンス | 11-1 留学生募集要項・留学生入学案内書・入学試験・秋葉学園留学生特別奨学金制度
留学生ガイダンス・スポーツ大会・団体活動（4泊5日）・学園祭
11-2 留学生部（入管担当・教務担当・就職担当・広報担当・特定活動担当）
留学生部会議（月2回程）
11-3 日本語学校等へのガイダンス・留学生募集要項・留学生入学案内書
11-4 留学生部（入管担当・教務生活指導担当・就職担当・広報担当・特定活動担当）
留学生部会議（月2回程）・校務分掌 |

総合的な評価

本学は、人間教育を基本とした実学教育により、社会で活躍できる実践力のある人材育成に取り組んできた。学校行事をはじめ、団体活動を通じて協調性、社会人として必要なマナーや仕事に取り組む姿勢、そして社会に出て活躍できるための専門の知識や技術の習得、その証である資格の取得に努めてきた。これらの教育方針のもとで資格取得のための指導成果や学生の就職内定など結果をあげている。また職業訓練の受託など積極的に地域貢献に勤めている。今後の課題として、学生募集の充実や留学生に対する指導、日本人学生の入学促進や奨学金などを含めた産学連携事業の展開など、整備、改善、充実を図っていく必要があると考える。